

令和4年度 第1回 北浜南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 4月27日（水） 15時から16時まで
- 2 開催場所 北浜南小学校 3階会議室
- 3 出席委員 三浦 うた子、波多 信広、永瀧 利佳、島尾 智砂子、森田 正幸
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 細川 恭由（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 松本 昌之（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、白鳥 直樹（教務）
無州 潤（CS担当）、山下 美波（CS担当）
鈴木 利江子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）北浜南小学校運営基本方針について
 - （3）令和4年度の具体的支援について
 - （4）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 利江子
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数5人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）北浜南小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。学校運営方針については、承認が得られた。

- ・ 発達支援学級についてだが、北浜小にある「北斗」へ北浜南小学区の子供も通っている。北浜南小に新設された「かがやき」とどのような違いがあり、保護者がどのように選択しているのか教えて欲しい。（波多委員）
- ・ 中学校区には発達支援学級が北浜小のみだったが人数が増えてきた。学区でない学校に通うのはハードル高い。そのため、その児童にあった学習の場が必要であり、教育委員会に働きかけ新設に至った。北浜小は知的・情緒学級。伎倍小は情緒学級。北浜南小は知的学級。今まで対象児童は北浜小へ通っていた。笠井小へ通っている児童もいる。北浜小へ通っていた児童も北浜南小へ通学することも可能。しかし、なかなか慣れた環境から動いて学校を変えるのは難しい。今まで北浜南小には発達

支援学級がなかったためどんな教育が進められるか親御さんも分からないこともあり、希望する児童が少なかった。(松本校長)

- ・ 今、北浜南小は知的学級のみだが、情緒学級を新設という考えはあるか。(森田委員)
- ・ 今のところ保護者からの希望はない。もし要望があれば情緒学級も対応したいと思う。子供にあった環境を整えてあげることがもっとも重要であるが、一つ学級を増やすということは、なかなか大変なことですぐ出来るとは言えないが、当然学校としては教育委員会に働きかけていきたいと思っている。(松本校長)
- ・ 次回以降、授業参観もあるので、またその折に気付いたことあればご意見をお願いしたい。(三浦委員)

(3) 令和4年度の具体的支援について

議長から今までの流れで町びかびか活動を中心にソフトボール投げ方指導、大学との連携走り方指導、校服活用についての説明があり会長から、以下の発言があった。

◎ 町びかびか活動について

- ・ 町びかびか活動は同じようにすすめていけばいいか。(三浦委員)
- ・ ぜひとも、なんとかやっていただければありがたい。心待ちにしている。清掃活動も大切だが、その後の地域の人達との交流、ふれあいの部分がとても大事な行事。地域の繋がりのためにも、ぜひとも形にさせていただけたらと思っている。(オブザーバー)
- ・ 今年度はやる前提で計画を進め、どうしてもない時は縮小や、適宜対応、臨機応変でいいのではないかと思う。(波多委員)

◎ ソフトボール投げ方指導について

- ・ 北浜南小学校は昨年度できなかったが、保育園「あゆみの森こども園」で同じような内容のことをやった。実績もあるし、コロナや日程の問題がなければ行えると思う。スケジュールが分かれば、それに向けて声掛けしたいと思っている。(波多委員)
- ・ 新体力テストが9月の終わりがあるので、その前にやっていただけたらと思っている。(中谷教頭)
- ・ 次回6月のCSで提案ということで進めていく。(三浦委員)

◎ 大学との連携 走り方指導について

- ・ 昨年度は北浜南部協働センターの希望が採用されず出来なかった。今年度も採用されない可能性もある。提案としては大学にCSの会として依頼しアプローチできないかと思っている。(オブザーバー)
- ・ 継続的にやるのであればCSでアプローチした方がいいと思う。(永瀧委員)
- ・ 北区では高校とコラボしているところもある。(オブザーバー)
- ・ 大学で地域教育として取り入れているところはあるか。(波多委員)
- ・ 浜松の大学にはない。(オブザーバー)
- ・ 専門学校とのコラボでもいいのではないかと思う。(波多委員)

- ・ 大学にこだわらず、専門学校とのコラボでもいいかもしれない。(オブザーバー)
- ・ オブザーバーと一緒に連携をとりながら、すすめていければと思う。少しずつ記録が上がっていくのが見えるので、子供たちにとっても大学生にとってもよい。(三浦委員)
- ・ 繋がりがあれば、そういう形で話をすすめていきたいと思う。(オブザーバー)

◎ 校服・体操服の活用について

- ・ 3月7日に校長先生の名前付けで「校服及び体操服の寄付についてのお願い」というお手紙を出し寄付が集まってきているとのこと。このことについて、CSの方で運営できればと思っている。(三浦委員)
- ・ 回収物は体操服上下、ブラウス。上靴は貸出用として使いたい。(中谷教頭)
- ・ 校服関係は会長が中心ですすめ、島尾さんや永瀧さんにお手伝いお願いするという形でよいか。(三浦委員)
- ・ PTAのボランティア部と連携してもいいのではないか。(波多委員)
- ・ PTAの仕事を増やさないよう、できる人のみをお願いする形でやっていければと思う。(三浦委員)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員より了承を得られた。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年6月6日(月)午後14時から授業参観後、3階会議室で開催する旨の報告があった。